



NPO活動等支援補助事業相互評価書

事業名	第2回「ふるさとカルタ大会 in いぶすき」		
団体名	カルタ大会実行委員会	実施年度	平成28年度

【活動団体等記入欄】

評価項目		主な内容	◎：特に優れる ○：良好である △：課題有り ×：改善を要する －：非該当	所見
公益性	市民参加協力	事業実施を通じて市民の理解や参加、協力が得られたか。	○	日程の都合で不参加の園もあったが、参加各園の協力は十分に得られた。ジュニアリーダー、中学生、行政関係者の協力もありがたかった。
	市民説明	事業の紹介を積極的に行い、市民に開かれた事業であったか。	◎	2回目の大会ということで認知度も高まっていた。市内各施設・園でのポスター掲示、学校へのチラシ配布等も積極的に行った。観戦者にも広がりが出てきた。
必要性	事業の成果	事業の目標・目的どおりの成果が得られたか。	◎	参加児童の様子から、各園の指導の姿がうかがえた。園での日常の遊びの中でカルタが使われていたり、園独自のカルタ大会が開かれたりしている。
	先進性波及性	新たな成果や仕組みを生み出すなど、波及的な効果が得られたか。	◎	カルタを通して、そこに表されている事物に興味を持つ児童が増えていた。郷土への理解・愛着にもつながると思う。
	発展性	事業実施後、団体の発展や事業自体の発展が見込まれるか。	◎	カルタ自体、あるいは大会を通して、児童への教育効果は大きいことを感じる。今後、参加対象の拡大、協力体制の充実を目指したい。
有効性	予算経費の妥当性	補助金は収支予算に沿って適切に執行されたか。	◎	大会の準備、運営に諸々の経費が必要であった。第1回大会の反省も含め、補助金等の有効な活用に努めた。
	実施体制	事業を確実に実行するための適切な実施体制ができていたか。	○	協力の可能な団体等の掘り起こしを図った。市の行政関係者も実行委員会にアドバイスをいただいた。大会当日も多くの方の協力を得られた。
	協働の効果	本事業は、協働による取組が有効か。	○	各園の大会への取り組みの中で、子どもたちが身につけるマナー・知識、大会での態度等、本大会の持つ意味を、もっと多くの人々に理解をいただく工夫が必要だと思う。

総評

参加いただいた園・児童には、充実したものを感じてもらえたのではないかと思います。大会そのものの成功以外に、日常の児童の遊びの中や、園の行事においてカルタが活用されていることも、本大会の波及効果としてありがたく思う。参加対象や協力体制の広がりなど、次回大会の更なる充実を目指したい。

## 事業実績書

### 1 事業名

第2回「ふるさとカルタ大会 in いぶすき」

### 2 事業の目的

カルタは日本独自の文化であり、現在全国各地に数多くのカルタが存在しています。これは、子どもたちにとって「郷土への愛着や関心の入り口」のきっかけづくりとなるものです。郷土カルタ遊びを普及し、より多くの子どもたちが楽しく鹿児島県の歴史や文化を学ぶことで、必要とされる郷土愛を育んでいくほか、コミュニケーション能力をはじめとするさまざまな感覚を育むことで、未来を担う子どもたちを健全に育成していくことを目的とします。

### 3 事業実績

#### (1) 実行委員会・大会

※ 実行委員会は原則として毎月第2水曜日 15:00～ 白水館

#### 《7月4日以降》

##### ① 7月実行委員会（7月13日）

###### 協議事項

〈経過の確認も含めて〉

- ・第2回大会参加要請の進捗状況
- ・後援団体の確認
- ・実施要項に（児童・保護者向けに別に案内チラシを準備）
- ・ポスター等（ポスター・大会パンフレット）
- ・協賛広告
- ・大会スタッフ
- ・予算

〈大会本番に向けて〉

- ・進捗状況と今後の取り組み（掲示・配布物、参加チーム、選手名簿・対戦表等の作成、賞状・賞品等、大会当日の任務分担、大会当日の流れ、大会までに準備の必要なもの、等）

##### ② 第2回ふるさとカルタ大会 in いぶすき（8月5日）

- ・参加チーム・児童数（14チーム、54人）
- ・当日の流れ  
スタッフ集合 ⇒ 打ち合わせ・練習 ⇒ 受付開始 ⇒ 開会式 ⇒ デモンストラーション ⇒ 競技開始 ⇒ 閉会式  
※ 片付け終了後に簡単に反省会・慰労会  
※ 参加児童・指導者へのアンケート結果も参考にして協議した

##### ③ 10月実行委員会（10月12日）

###### 協議事項

- ・「指宿版ふるさとカルタ」について
- ・第2回ふるさとカルタ大会に（1）大会までの取り組み（2）大会について
- ・第3回ふるさとカルタ大会に向けて
- ・第2回大会へのお礼

④ 11月実行委員会（11月16日）

※ 11月実行委員会からは、第2回大会の反省を踏まえながら第3回大会への準備を始める。

《第2回大会に向けての、7月以前の実行委員会》

① 1月実行委員会（1月16日）

協議事項

- ・第1回大会の経過
- ・第1回大会の反省
- ※ 第2回大会に向けて（2月10日の実行委員会から第2回大会実行委員会に切り替える）
- ・「指宿版ふるさとカルタ」について（実施主体）

② 2月実行委員会（2月10日）

協議事項

- ・第1回大会の経過（指宿市への実績報告書等をもとに）
- ・実行委員会組織
- ・第2回大会の実施期日
- ・参加対象
- ・後援団体
- ・協賛広告
- ・ポスター等
- ・予算

③ 3月実行委員会（3月9日）

協議事項

- ・第2回大会実施期日の確認
- ・後援団体への依頼
- ・ルールブック、実施要項
- ・ポスター等
- ・協賛広告
- ・予算

④ 4月実行委員会（4月13日）

協議事項

- ・第2回大会実施に関する確認 ※ 関係各園への依頼（具体）
- ・後援団体・企業への依頼（具体） ※ 新たな掘り起こし
- ・実施要項（印刷部数）
- ・ポスター（レイアウト、印刷枚数・部数）
- ・大会パンフレット（概要）
- ・協賛広告依頼（具体）、新たな掘り起こし
- ・予算

⑤ 5月実行委員会（5月11日）

協議事項

- ・第2回大会に向けて（参加要請）
  - ※ 学童保育・児童クラブのある園には、開催日時は連絡済み
  - ※ 今回は、参加対象を市内小学生全体に広げる（そのための手立て）
- ・後援団体への依頼（新規も含めて、任務分担）
- ・実施要項（児童・保護者向けには別に案内チラシを準備）
- ・ポスター・大会パンフレット
- ・協賛広告
- ・大会スタッフ
- ・予算（第1回大会のものを使う、指宿市補助金に関して）

⑥ 6月実行委員会（6月8日）

協議事項

- ・第2回大会に向けて … 関係各園、小学校に実施要項（児童・保護者向チラシ）を持って具体的な要請に動く
  - ・後援団体（確認）
  - ・実施要項
  - ・ポスター等
  - ・協賛広告
  - ・大会スタッフ（ジュニアリーダー、南指宿中学校弓道部への要請）
  - ・予算

**※ 上記の定例実行委員会以外の取り組み(実行委員で分担して, 適宜行動する)**

- ・ 関係各園への文書配布 (開催案内)
- ・ 関係各園, 小学校への参加要請
- ・ 団体・企業等への後援依頼
- ・ ジュニアリーダークラブへの協力依頼 (社会教育課)
- ・ 南指宿中学校弓道部への協力依頼
- ・ 協賛広告への協力依頼

